赤平市議会議員 手づくりの議会広報紙

あかびら市議会

かわら版

No.67

第１回定例会(3 月 7 日開会～3 月 17 日閉会)

- 条例の制定等についての審議
- 令和４年度各会計補正予算の審議
- 令和５年度各会計予算の審議
- 一般質問　５名

ほか

審議	
議案	２５件
報告	２件
意見書案	２件
行政常任委員会に付託	
条例改正等	５件
予算審査特別委員会に付託	
新年度予算等	１１件

結果
原案通り可決・承認・同意

本会議の様子

議会運営委員会の様子

予算審査特別委員会
(3 月 10 日開会～3 月 17 日閉会)

- 令和５年度各会計予算の審査

審査	
予算案	９件
条例案	２件

結果
原案通り可決

予算審査特別委員会の様子

第１回臨時会（1 月 31 日）

- 令和４年度一般会計補正予算の審議

審議	
議案	１件

結果
原案通り可決

任期最後の記念写真

民主クラブ

伊藤　新一

放課後子供教室について

【質問】令和4年に放課後子供教室が開設され、間もなく一年を迎えるが運営状況について伺う。

【答弁】4月の開設以来142名の児童が登録され、平均すると1日当たり約40名利用しており、思い思いに存分楽しむ姿が見られている。6月からは学習支援も実施し、地域学校協働活動では、走り方教室等のスポーツや歴史学習等を実施、その他にも様々な催しを行い「学習、体験、交流活動の機会を提供する」「児童の安心、安全な居場所を作る」という目的については、一定の効果はあったと考えている。

【質問】放課後子供教室の預かり事業である、あかびら児童クラブの現状について伺う。

【答弁】56名の利用の申し込みがあり、1日約20名が利用している。開設時間は、放課後から午後6時までで就労状況により午後7時まで延長している。土曜日や長期休業期間は、午前8時から午後7時までとしているが、保護者のニーズにより、午前7時30分からの受入れを行っている。実施から1年経過しているが、大きな事故もなく運営出来たものと考えている。

乗合タクシーについて

【質問】昨年の6月から長期実証運行を行っているが、現状について伺う。

【答弁】利用登録者数は3月1日現在56世帯、70名に登録頂いている。利用状況については、1月までの実績で延べ利用者数が235名で、利用者の9割が買い物での利用と見受けられる。利用登録者数や利用者数、運行率、乗合率等徐々に伸びてきている状況である。

【質問】まだ利用率が低いことが懸念されるが、利用状況を踏まえた今後の対応について伺う。

【答弁】赤平市地域公共交通活性化協議会において、今年度の実証運行の検証と合わせ令和5年度の運行についても協議している。分科会では、将来的に必要な交通手段であるという認識のもと、これまでの実績を生かし改善を加えながら、もう一度、令和5年度に実証運行を行ったうえで、令和6年度の本格運行に繋げていく。

新政クラブ

安藤　繁

窓口業務の利便性の向上について

【質問】当市の窓口業務の現状と窓口業務支援システム導入による「書かない窓口」や「ワンストップ窓口」等事務手続きの簡素化による市民サービス向上の為の取り組みについての認識について伺う。

【答弁】「書かない窓口」や「ワンストップ窓口」を設ける市町村が増えつつある事は把握しているが、多額な費用が掛かり、相談スペース確保の為庁舎建て替え時に新設する市町村が多い様に認識している。市民の利便性や費用対効果・関連機器の設置スペース確保等を検討し、総合的判断から設置を見送ってきた。

少子高齢化対策について

【質問】「結婚新生活支援事業」は、地域の少子化対策として新居の購入費や家賃・引越代等の支援で結婚し易い環境を整備する事業であり、制度を利用した人の9割以上が、経済的に役立ったとしております。この事業についてどの様に認識しているのか伺う。

【答弁】国における結婚新生活支援事業については、家賃も対象となるものの、期間が3か月間に限られていることもあり、当市の民間住宅家賃助成事業の内容と合わせて今後、研究して参りたいと考えている。

新政クラブ

北市　勲

市政について

【質問】政策の確定について、市長は就任時の所信表明の中で「政策とは、空想や理念によって生まれるものではなく、社会の実体を把握し認識してこそ正しく、地に足の着いた政策が生まれる」と言明しスタートしました。しかし、私は理念の無い政策は考えられないと思っており、理念から政策が生まれる場合もあると思っております。市長はこの4年間の市政運営は理念のない政策の運営だったのか。また。その考えに変わりが無いのか伺う。

【答弁】私は「ほとほと困った市民を一人でも少なくしたい」と言うのが一番の願いであり、これが私の理念である。

【質問】市長が実績として報告している「私道の除雪事業」政策は「ほとほと困った市民を一人でも少なくしたい」と言う理念から生まれた政策と思っておりますが市長の考えを伺う。

【答弁】「私道の除雪事業」は政策の理念だけで生まれたものではない。問題があって、現況の調査をして立案作業が出発した。

【質問】赤平市の将来像は「ひと・自然・産業が輝く、

協働と共創のまち赤平」として、赤平市民が協力しながら地域の課題解決に向けた活動「協働」を行い、それぞれが連携し多様な立場の人達と対話をしながら本市の将来を共同で作りあげる「共創」によりまちづくりを進めると明言しておりますが、「市民アンケート」の結果に対する対話や「Aコープ撤退」後の対応等の対話は無い状況で、まちづくりの達成度はどれ位か、また、市長自身の評価を伺う。

【答弁】将来像の実現に向けて、市民アンケートや住民懇談会等で様々な意見をお聞きし対話を大事にしながら市民の意向や意見の把握に努め市民と共にまちづくりを推進してきました。私の評価については一定の成果につながったのではないかと考えている。

一刻者倶楽部

鈴木　明広

財政健全化計画の策定について

【質問】総合情報サイト「プレジデントオンライン」に「貧乏自治体」の市区編ワーストランキングが掲載された。当市は一人当たり実質債務が約104万円で4位であった。同2位の士別市では、「士別市財政健全化実行計画」を策定し、改善に取り組んでいる。当市においても同様の財政健全化計画を策定する必要があると思うが見解を伺う。

【答弁】現状では、当市は新たに健全化を図る計画を策定しなければならない状況とは判断してない。ただし、交付税の推計や実施事業における財源の確保、公債費の償還シミュレーション等により、指標等の推計を行いながら事業の取捨選択を行い、常に持続可能な財政運営を心掛けていく。

超過死亡者数の増加傾向について

【質問】超過死亡増加については、国際的にSNS等のオルタナティブメディアから問題点を指摘する記事や専門家の懸念が報道されている。日本においても大手週刊誌がコロナワクチン接種後の死亡や後遺症について連載を組んで報道している。当市は超過死亡数についてデータの分析等を行っているかを伺う。

【答弁】当市の超過死亡数については、全国的な死亡数の増加をうけ当市でもデータを確認している。当市においては2022年10月の死亡数22名で前年比27・3%増、2022年11月の死亡数32名で前年比100%増、2022年12月の死亡数27名で前年比58・8%増、2023年1月の死亡数33名で前年比32%増となっている。詳しい死亡原因等の分析までは至ってはいないが、今年度は、4月以外すべての月で死亡数が増加しているのは事実である。

日本共産党

木村　恵

子ども・子育て支援などについて

【質問】畠山市長は、この4年間で、放課後子供教室の開設、ひとり親世帯生活支援給付金の拡充、高校等通学費等助成制度の増額、保育の一部無償化、子育て支援住宅の建設などに取り組んできた。また、子どもの医療費の無償化や国民健康保険税の子どもの均等割りの免除などについても継続して取り組んできた。これまでの取り組みについての考えを伺う。

【答弁】公約である市民アンケートにおいて、子育て支援については、経済的支援が一番多く求められる結果だったことから、子育て世帯への経済的支援を進めてきた。子どもたちに貴重でかけがえのない時間を有意義に過ごしてもらうことができるよう、子育て支援の充実に努めていきたい。

高齢化社会に対応したまちづくりについて

【質問】畠山市長は、エリアサポーター、認知症サポーターの養成などを継続し、新規事業として、私道の除雪、福祉灯油、高齢者補聴器購入費助成制度の創設、地域公共交通の乗合タクシー試験運行などに取り組んできた。これからも地域での見守り体制の拡充や、健康寿命を延ばす取り組みの推進など、町内会や社会福祉協議会などの団体と連携して進めていかなければいけないと思う。高齢化社会に対応した福祉サービスの在り方についての考えを伺う

【答弁】ほとほと困ったという市民を1人でも少なくしたいという思いで1期4年の市政運営にあたってきた。除雪に困っている高齢者が多いことから、様々な検討を重ね「私道の除雪」を実現した。加齢性難聴による認知症や引きこもり防止のため「高齢者補聴器購入費用助成事業」を新たに実施した。福祉灯油事業は、対象を全ての非課税世帯へと拡充して実施した。1人暮らしの高齢者が多くなってきている現状を踏まえ、エリアサポーターの拡充など関係団体等と連携し、見守り体制の充実に努めている。今後においても赤平に住み続けたいと思ってもらえるよう、高齢者一人ひとりに寄りそう高齢者福祉支援の充実に努めていきたい。

議会の動き

1/26 議会運営委員会
1/31 赤平市議会第１回臨時会
2/ 6 中空知広域市町村圏組合例月出納検査(滝川市)
2/ 9 行政常任委員会
・個人情報保護法の改正に伴う赤平市の個人情報保護の対応について
・差押処分無効確認請求事件について
・赤平市地球温暖化対策実行計画の進捗状況について
2/ 9 議会運営委員会
2/15 全国市議会議長会第１６４回地方行政委員会(東京都)
2/27 中空知衛生施設組合議会第１回定例会(滝川市)
2/27 石狩川流域下水道組合議会第１回定例会(滝川市)
2/28 中空知広域市町村圏組合議会第１回定例会(滝川市)
2/28 中・北空知廃棄物処理広域連合議会第１回定例会(滝川市)
2/28 空知教育センター組合議会第１回定例会(滝川市)
2/28 滝川地区広域消防事務組合議会第１回定例会(滝川市)
3/ 2 議会運営委員会
3/ 7 赤平市議会第１回定例会（～１７日まで）
3/ 7 議会運営委員会
3/ 7 予算審査特別委員会（正副委員長互選）
3/ 8 行政常任委員会
・赤平市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
・赤平市公有財産条例の制定について
・赤平市子ども・子育て会議条例等の一部改正について
・赤平市水道事業及び下水道事業職員の育児休業等に関する条例の制定について
・赤平市水道条例の一部改正について
・中央バスについて
3/10 予算審査特別委員会（～１５日まで）
・令和５年度赤平市一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・用地取得・介護サービス事業・介護保険特別会計、水道事業・病院事業・下水道事業会計予算について
・赤平市手数料徴収条例の一部改正について
・赤平市国民健康保険条例の一部改正について

◎意見書の送付について　　下記の２件の意見書を可決し、送付しました。
○ＬＧＢＴＱに関する差別を解消し、人権を守る法整備を求める意見書
○女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

※詳しい議決結果及び賛否の公表については、赤平市議会ホームページに掲載しています。

議長挨拶

今任期は新型コロナウイルス感染症がまん延し当市も大きな影響を受けました、切れ目のない支援、ワクチン対応等医師会をはじめ関係された皆様には心より敬意と感謝を申し上げます。

議長に就任後、誠心誠意、中立公平な運営に努めコロナ禍、市民の暮らしを守り事業者を支えることを念頭に市民目線を忘れない対策の実現を意識してきました。今後も議会の役割と責任は大きいと考えます。私は、議会への関心を高めて頂くことが重要と考え「議会報告と意見交換会」を開催し、皆様の声をお聞かせ頂きました。また議会では質問に対し「要旨確認」を目的として反問権の導入、閉会中の議場を児童生徒の活動の場として使用してもらうなどに邁進してきました。今後も改革に取り組む努力が必要です。

在任中は全国・北海道の議長会で情報交換ができ大変意義深く、学びが広がる時間でした。終わりに、四年間の感謝を心から申し上げご挨拶といたします。

竹村　恵一

編集後記

３月７日から第一回定例会が開会され、５人の議員が一般質問を行いました。また、休会中に予算審査特別委員会が開会され、令和５年度各会計予算について審査を行い 17 日に閉会しました。

コロナの感染者は全国的に減少傾向で、道内や市内でも減少しております。マスクの着用義務は無くなりましたが、マスク無しの以前の生活に少しでも早く戻る事を願っております。

コロナの終息が見えてきましたが、電気料金や諸物価の高騰等で市民の皆様方、企業の経営者の方は、苦慮している事と察します。

コロナが終息し、経済状況も回復し、市民の皆様が安心して日常生活を送れる日が来る事を願っております。　東　成一

かわら版編集委員会
委員長　鈴木　明広
安藤　繁
東　成一
木村　恵
五十嵐美知

※このかわら版のお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会 TEL32-1858 までお願いいたします。